

20代で農林水産大臣賞

豊橋の洋ラン生産者尾崎さん 多くのの人に良さを伝えたい



「コチョウランの魅力を多くのの人に伝えたい」と話す尾崎さん(左)と農林水産大臣賞を受賞した「ソゴユキディアン」

花の魅力引き出すのが役目

豊橋市細谷町の洋ラン生産者尾崎幹憲さん(28)が、平成19年度全国花き品評会洋ラン部門で、最も優れたランに贈られる「農林水産大臣賞」を受賞した。20代の若さで受賞は珍しく、尾崎さんは「目標としていた賞なのでとてもうれしい」と喜んでいる。

ラン部門には、全国の生産者から約400点が出品された。色や形、咲きそろういぶりなどを審査し、尾崎さんが丹精込めた「ソゴユキディアン」が農林水産大臣賞に選ばれた。美しい花弁の白とバランスのとれた立ち姿が高く評価された。

尾崎さんは農業高校を卒業後、コチョウランの育て方を学ぶため一色町の農家に住み込み2年間修業した。その後、細谷町で生産を始め、昨年販売に力を入れるため「リーフ」を設立。現在年間約24万株のコチョウランを全国に出荷する。「人間1人ひとりが違

うように花もそれぞれ違う。最もきれいに見えるように花の魅力を引き出すのが生産者の役目。今では五感を研ぎ澄ませることで、ハウスに入っ

た瞬間に苗の状況や空調の変化を気付けるまでになったという。尾崎さんは「コチョウランは贈られて最もうれしい花の一つ。それだけ

人を引き付ける魅力を持っている。今回の受賞を励みにより多くのの人にコチョウランのよさを伝えていきたい」と抱負を話した。

品評会は11月28日に豊明市の愛知豊明花き地方卸売市場で開かれ、洋ラ